

「ねんりんピック岐阜２０２５」の経済波及効果の推計について

２０２５年４月１８日
株式会社 十六総合研究所

十六フィナンシャルグループの株式会社十六総合研究所（代表取締役 佐竹 達比古）は、２０２５年１０月１８日～２１日に開催される「ねんりんピック岐阜２０２５」の来場者による岐阜県内への経済波及効果を推計しましたので、別紙のとおり公表いたします。

＜別紙＞「ねんりんピック岐阜２０２５」の経済波及効果の推計

以 上

【ご照会先：十六フィナンシャルグループ（広報） TEL ０５８－２６６－２５１１】

2025 年 4 月 18 日

「ねんりんピック岐阜2025」の 経済波及効果の推計

『 来場者による岐阜県内への経済波及効果は145億円』

調 査 結 果 概 要

■ 「ねんりんピック岐阜 2025」の来場者数（4 日間・延べ人数）及び観光消費額の推計結果

	来場者数（人）	観光消費額（百万円）
総来場者	600,000	11,662
うち、県内参加者	500	10
うち、県外参加者	9,500	1,185
うち、一般参加者（応援・見学が主）	590,000	10,468

（注）表示未満の四捨五入により各項目の計と合計が一致しない場合があります（以下、同様）。

■ 来場者による岐阜県内への経済波及効果の推計結果

	経済波及効果（百万円）
総合効果	14,584
うち、直接効果	9,253
うち、間接効果	5,331

※岐阜県「地域経済波及効果分析システム（Ripple）」を用いて推計

※直接効果：来場者による観光消費額のうち、岐阜県内に対する生産増加分（県内自給率を考慮して推計）

間接効果：直接効果により県内産業にもたらされる生産増加分（1次波及効果）と直接効果及び1次波及効果により生じた雇用者所得の増加分が消費に向けられることでもたらされる生産増加分（2次波及効果）の合計

ご 照 会 先
十六総合研究所 リサーチ部
上席研究員 西居 宏
岐阜県岐阜市神田町 7-12
TEL 080-7393-9903

調 査 結 果

1. ねんりんピック岐阜 2025 について

「ねんりんピック」の正式名称は「全国健康福祉祭」と言い、1988（昭和 63）年から毎年開催されています。60 歳以上の方を中心に、幅広い年代の人たちがともに楽しみ、交流を深められるスポーツ・文化・健康と福祉の総合的な祭典です。岐阜県では 2020 年に開催予定でしたが、感染症により延期となり、今年開催となったものです。「清流の国ぎふ」に住む県民の温かさと熱意、そして「オール岐阜」による心こもったおもてなしで全国の皆さんをお迎えします。

（以上「ねんりんピック岐阜 2025」ホームページ（<https://nenrin-gifu2025.pref.gifu.lg.jp/>）より引用・加工）

「ねんりんピック」は、岐阜県民のみならず、全国から多くの応援・見学、そして観光に人々が訪れる祭典で、これまで開催された大会報告書によると、各大会で延べ 50 万人を超える参加者が記録されています。

昨年 10 月 19 日から 22 日に開催された鳥取大会では延べ 54 万人の人出となり、経済波及効果は 131 億円と試算されています。今回、交流大会では 31 種目により、選手同士の競い合いとともに人々が交流を深め、ふれあいレク大会 25 種目では、子ども高齢者も障害のある方もない方も、誰もが気軽にレクリエーションにふれることができる岐阜独自の大会として行われます。

【直近のねんりんピック開催実績】

年度	2017	2018	2019	2022	2023	2024
開催地	秋田	富山	和歌山	神奈川	愛媛	鳥取
経済波及効果	115 億円	110 億円	101 億円	111 億円	129 億円	131 億円
延べ参加者数	約 55 万人	約 55 万人	約 56 万人	約 61 万人	約 51 万人	約 54 万人

※2020、2021 年は感染症蔓延のため中止 ※出所：大会報告書及び報道資料

2. 経済波及効果の推計について

イベントの経済波及効果の推計は、一般的には「来場者による観光消費額」と「イベント主催者などが支出する事業費」の合計で推計しますが、本調査では「来場者による観光消費額」のみを推計します。

2.1. 延べ来場者数の推計

来場者数は、所在地や県内の宿泊の有無などで一人あたり観光消費額が異なることから、過去開催された大会報告書で集計している①県内参加者、②県外参加者、③一般参加者に準じて分類して推計します。

① 延べ来場者数（県内参加者）

これまで開催された各県の大会報告書を参考にして、地元参加者（関係者を含む）を 500 人と推計しました。

② 延べ来場者数（県外参加者）

これまで開催された各県の大会報告書では、選手などの関係者が 1 万人程度であり、県内参加者以外を 9,500 人と推計しました。

③ 延べ来場者数（一般参加者）

選手関係者以外の応援や見学者を主としているが、過去の大会報告書では県内宿泊者・県外宿泊者・日帰りの区分けはないため、選手関係者以外をひとまとめで算出しました。主催者では人出を60万人と推定しており、上記①と②の選手・関係者以外の**59万人**と推計しました。

【延べ来場者数の推計結果】

	来場者数（人）
推計参加者	600,000
うち、県内参加者	500
うち、県外参加者	9,500
うち、一般参加者（応援・見学が主）	590,000

2.2. 観光消費額の推計

観光消費額は、【観光客数×一人あたり観光消費額】で推計します。直近4大会の報告書で公表された消費額の平均値をもとに、昨今の物価変動を加味して観光消費額を推計します。

【本大会における参加者別一人あたり観光消費額】 単位：円

項目	県内参加者	県外参加者	一般参加者
飲食費	3,210	9,468	3,000
入場料・利用料金等	2,115	7,878	3,012
買物（お土産代等）	2,242	12,216	3,000
宿泊費	4,442	35,802	4,456
岐阜県までの交通費		43,653	
岐阜県内での交通費	5,372	5,568	2,974
観光宿泊	755	9,101	
その他	1,000	1,000	1,300
合計	19,136	124,686	17,742

となり、これらを合計して、来場者により**11,662百万円**の観光消費額が喚起されると推計しました。

【観光消費額の推計結果】

	観光消費額（百万円）
総来場者	11,662
うち、県内参加者	10
うち、県外参加者	1,185
うち、一般参加者（応援・見学が主）	10,468

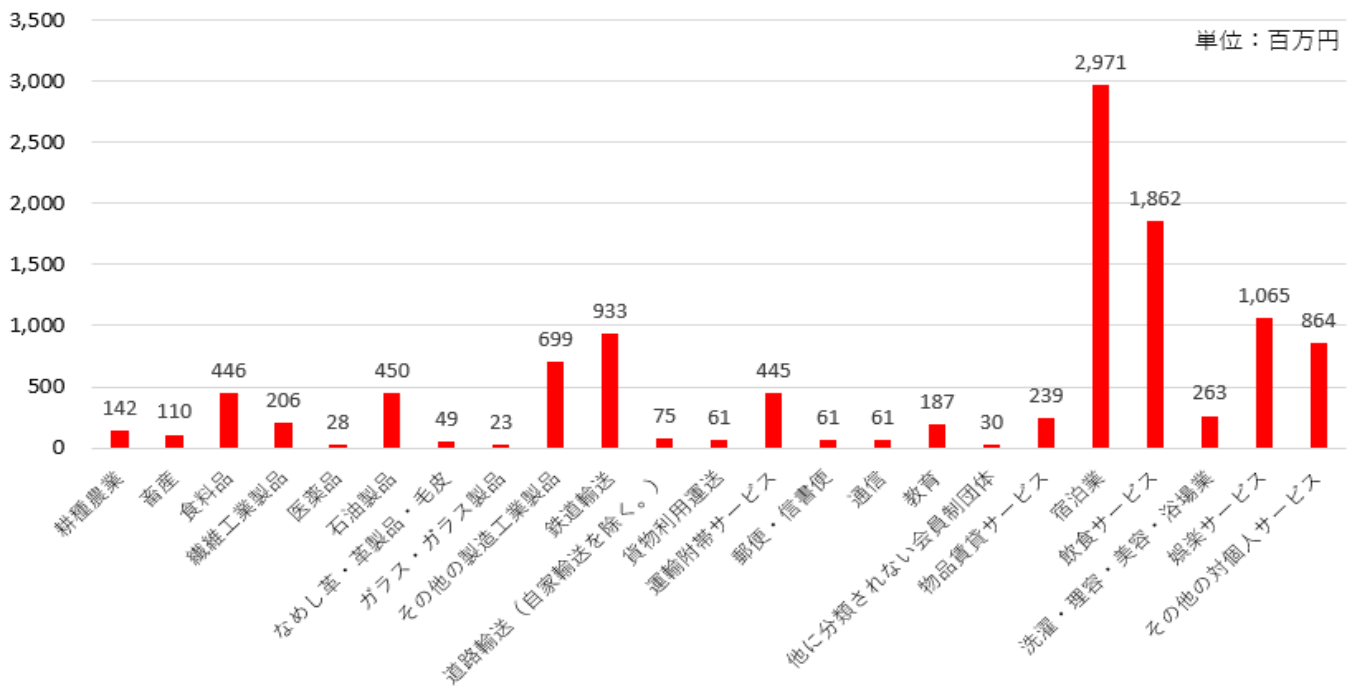
2.3. 来場者による岐阜県内への経済波及効果の推計

2.2.で推計した観光消費額を、統計や一定のルールに基づき項目ごとに県内自給率（例：岐阜県までの交通費は片道のみ計算（＝県内自給率 50%））を考慮したうえで、岐阜県「地域経済波及効果分析ツール（Ripple）」を用いて経済波及効果を推計したところ、来場者による岐阜県への経済波及効果を **14,584 万円**と推計しました。

産業別にみると、「宿泊業」への波及が 2,971 百万円と最も多く、次いで「飲食サービス」が 1,862 百万円、「娯楽サービス」が 1,065 百万円と続いています。

【来場者による経済波及効果の推計結果】

	経済波及効果（百万円）
総合効果	14,584
うち、直接効果	9,253
うち、間接効果	5,331



以上